

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年12月10日(2020.12.10)

【公開番号】特開2019-182783(P2019-182783A)

【公開日】令和1年10月24日(2019.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-043

【出願番号】特願2018-75331(P2018-75331)

【国際特許分類】

A 0 1 N	63/27	(2020.01)
A 0 1 P	3/00	(2006.01)
A 0 1 N	25/00	(2006.01)
A 0 1 G	7/06	(2006.01)
A 0 1 G	7/00	(2006.01)

【F I】

A 0 1 N	63/02	F
A 0 1 P	3/00	
A 0 1 N	25/00	1 0 2
A 0 1 G	7/06	A
A 0 1 G	7/00	6 0 5 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月28日(2020.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明におけるシュードモナス属細菌は、特に限定されないが、植物保護作用を有するものが好適に用いられる。その具体例としては、シュードモナス プロテゲンス(*Pseudomonas protegens*)、シュードモナス フルオレッセンス(*Pseudomonas fluorescens*)、シュードモナス シリング(*Pseudomonas syringae*)、シュードモナス クロロラフィス(*Pseudomonas chlororaphis*)、シュードモナス シンキサンタ(*Pseudomonas synxantha*)、シュードモナス ブラシカセアルム(*Pseudomonas brassicacearum*)、シュードモナス プチダ(*Pseudomonas putida*)、及びシュードモナス ロデシア(*Pseudomonas rhodesiae*)等が挙げられる。また、本発明では、シュードモナス(*Pseudomonas*)sp. Os17株、及びシュードモナス(*Pseudomonas*)sp. St29株も利用することができ、これらの細菌は独立行政法人製品評価技術基盤機構(National Institute of Technology and Evaluation(NITE))バイオテクノロジーセンター特許微生物寄託センター(NPMD)において、それぞれ受託番号NITE P-02053及び受託番号NITE P-02054として寄託されている。好ましくは、シュードモナス プロテゲンス、シュードモナスsp. Os17株、及びシュードモナスsp. St29株が本発明において使用される。シュードモナス プロテゲンスの細菌株のうち、好ましくはシュードモナス プロテゲンスCHA0株、及びシュードモナス プロテゲンスCab57株が用いられるが、特にこれらに限定されない。

